

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:現代の国語(必履修)		単位数 2 単位	履修年次 1 年次
目標	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、実社会に必要な国語の知識や技術の基礎を身に付け、論理的に考えたり想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉を通して他者や社会に関わる基礎的な態度を養う。			
使用教材	教科書「東京書籍 新編現代の国語」 副教材「尚文出版 新常用漢字必携 パーフェクトクリア」			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	実社会に必要な国語の知識や技術の基礎を身に付けている。	論理的に考える力や想像する力、伝え合う力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、定期的な漢字テスト及び発表内容などを含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	【話すこと・聞くこと】 ・日常生活の身近な話題について自分の考えなどが聞き手に伝わるように話したり、日常生活の身近な話題についてその概要や要点を聞いたり、進行や提案などの役割を果たしながら話し合ったりする。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【話すこと・聞くこと】 目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
2	【書くこと】 ・相手や目的に応じて、必要な情報を収集したり文章の構成や展開を工夫しながら文章を書いたりする。 【読むこと】 ・論理的な文章や実用的な文章に触れ、筆者・書き手の主張や意図を的確に読み取ったり、評価したりする。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【書くこと】 相手や目的、意図に応じた情報を収集し、適切な表現による文章を書き、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【読むこと】 目的に応じて、文章を的確に読み取ったり批評したりして、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
3	【話すこと・聞くこと】・【書くこと】 ・話したり聞いたりしたことや、描写したり論述したりしたことについて、自己評価・相互評価を行う。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【話すこと・聞くこと】 目的や場に応じて、様々な視点から伝え合う内容を検討し、自己の話し方やものの考え方に役立てる。 【書くこと】 相手や目的、意図に応じて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自己の書き方やものの考え方に役立てる。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:言語文化(必履修)	単位数 3 単位	履修年次 1 年次
目標	「書くこと」「読むこと」の領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能の基礎を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、論理的に考えたり想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉を通して他者や社会に関わろうとする基礎的な態度を養う。		
使用教材	教科書「東京書籍 新編言語文化」 副教材「尚文出版 新常用漢字必携 パーフェクトクリア」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	社会生活に必要な国語の知識や技能の基礎を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の領域において、論理的に考えたり想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めながら、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、定期的な漢字テスト及び発表内容などを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【読むこと】 ・中学校までの学習を踏まえ、我が国の伝統や文化等をテーマとした随筆や小説、物語等を、作者の意図を解釈しながら読む。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景や文語のきまり等を理解する。	【読むこと】 様々な作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について理解を深める。	
2	【書くこと】 ・我が国の伝統や文化等について考えたことや感じたことを、文章の構成や展開を工夫しながら文章で書いたり文芸作品で表したりする。 【読むこと】 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語等の書き手の主張や意図を的確に読み取ったり、評価したりする。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景や文語のきまり等を理解する。	【書くこと】 相手や目的、意図に応じて、自分の考えたことや感じたことを表現することを通して、我が国の言語文化についての自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【読むこと】 作品や文章を読み取ったり評価したりすることを通して、我が国の言語文化についての自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
3	【読むこと】 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語等を読み比べ、それらを比較して話し合ったりテーマを立ててまとめたりする。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景や文語のきまり等を理解する。	【読むこと】 様々な作品や文章を的確に読み比べたり批評したりすることを通して、我が国の言語文化についての自分の思いや考えをより広げたり深めたりする。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:言語文化(選択)	単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	1年次に学習した内容を基にして、「書くこと」「読むこと」の領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能を発展的に身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、論理的に考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えをより広げたり深めたりする。また、言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚をもちながら、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	教科書「東京書籍 新編言語文化」 プリント教材		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	社会生活に必要な国語の知識や技能を発展的に身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の領域において、論理的に考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えをより広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚をもちながら、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、発表内容などを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【読むこと】 ・1年次の学習を踏まえ、我が国の伝統や文化等をテーマにした文学的文章(神話や民話を含む)を、書き手の意図を解釈したり話の展開や人物関係を把握したりしながら読む。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景や文語のきまり等を理解する。	【読むこと】 様々な作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を的確に捉え、我が国の言語文化について発展的に理解を深める。	
2	【読むこと】 ・異なる時代に成立した様々なジャンルの文学的文章を、書き手の主張や意図を解釈したり話の展開や人物関係を把握したり評価したりする。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語等を読み比べ、それらを比較して話し合ったりテーマを立ててまとめたりする。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景や文語のきまり等を理解する。	【読むこと】 作品や文章を的確に読み取りながら、批評したり、他の作品と読み比べたりすることを通して、我が国の言語文化についての自分の思いや考えをより一層広げたり深めたりする。	
3	【書くこと】 ・日常生活において考えたことや感じたことを、表現技法を工夫したり相互に評価し合ったりしながら小説や詩歌等の文芸作品を創作することで表現する。	【書くこと】 自分の考えたことや感じたことを文芸作品で表現することを通して、情景を豊かに想像したり他者との関わりの中で伝え合ったりする力を伸ばす。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:論理国語(選択)	単位数 4 単位	履修年次 3 年次
目標	「書くこと」「読むこと」の領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考えたり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	教科書「東京書籍 新編論理国語」 プリント教材		
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	実社会で論理的、批判的に考えたり、自分の思いや考えを伝えたりするために必要な国語の知識や技術を身に付けている。	創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価基準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、定期的な漢字テスト及び発表内容などを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【読むこと】 ・身近なテーマを題材とした論理的な文章や実用的な文章を、内容や構成、論理の展開等を捉えながら読む。 ・人間や社会、自然などについて、多様な論点や異なる価値観で書かれた文章や資料を読む。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙等を身に付ける。	【読むこと】 様々な種類の文章に触れることで社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けたり、内容や構成、論理の展開を的確に捉えることで論点を明確にしながらいを把握したりする。	
2	【読むこと】 ・様々な論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や表現について批評したり議論したりする。 ・文章の解釈をより深められるよう、書き手の立場や主張と関連する文章や資料を読む。 【書くこと】 ・社会的な話題について書かれた論理的な文章やその関連資料を参考に、自分の考えをレポートにまとめる。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙等を身に付ける。	【読むこと】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価したり内容の解釈を深めたりする。 【書くこと】 自分の立場や論点を明確にして、自分の主張を支える情報の妥当性や信頼性を吟味しながら表現する。	
3	【読むこと】 ・社会的な話題について異なる論点を持つ複数の文章を読み比べ、そこから得た自分の新たな考えを文章にまとめたり発表したりする。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙等を身に付ける。	【読むこと】 テーマに関連する複数の文章や資料を基に、多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを広めたり深めたりする。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:文学国語(2年次全員履修)		単位数 2 単位 (計4単位)	履修年次 2 年次 (3年次との分割履修)
目標	「書くこと」「読むこと」の領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
使用教材	教科書「第一学習社 高等学校 標準文学国語」 副教材「尚文出版 新常用漢字必携 パーフェクトクリア」 プリント教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の領域において、考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、定期的な漢字テスト及び発表内容などを含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	【読むこと】 ・1年次までの学習を踏まえ、現代の小説や随想、詩歌を内容や構成、描写の仕方等を捉えながら読む。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を学ぶ。		【読むこと】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、そこに表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について理解を深める。	
2	【読むこと】 ・現代の小説や随想、詩歌の内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について議論する。 ・作品や作家の歴史的・文化的背景等を学ぶ。 【書くこと】 ・現代の小説や随想、詩歌に表れているものの見方、感じ方、考え方や、作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。		【読むこと】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉えたり、作品に関連のある事項を踏まえて作品の解釈を深めたりする。 【書くこと】 考えたり想像したりしたことを、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開、表現を工夫しながら表現する。	
3	【読むこと】 ・テーマを立てて小説や随想の文学作品を集め、アンソロジーを作成する。 ・作品や作家の歴史的・文化的背景等を学ぶ。		【読むこと】 設定した題材に関連する複数の作品を基に、我が国の言語文化についての自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:文学国語(3年次全員履修)		単位数 2 単位 (計4単位)	履修年次 3 年次 (2年次との分割履修)
目標	2年次の学習を踏まえ、「書くこと」「読むこと」の領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能を発展的に身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、創造的に考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを論理的に広げたり深めたりする。また、言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、積極的に言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
使用教材	教科書「第一学習社 高等学校 標準文学国語」 副教材「尚文出版 新常用漢字必携 パーフェクトクリア」 プリント教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、発展的に我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の領域において、創造的に考えたり豊かに想像したり伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを論理的に広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識や言語文化の担い手としての自覚を深めながら、読書に親しみ自己を向上させ、積極的に言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、定期的な漢字テスト及び発表内容などを含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	【読むこと】 ・2年次の学習を踏まえ、現代や近代の小説・詩歌を、内容や構成、描写の仕方等を捉えながら読む。 ・作品や作家の歴史的・文化的背景等を学ぶ。		【読むこと】 様々な作品や文章に触れることで社会生活に必要な国語の知識や技能を発展的に身に付け、そこに表れているものの見方や感じ方、考え方を的確に捉え、我が国の言語文化について理解を深める。	
2	【読むこと】 ・近代の小説や随想、詩歌の内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について批評したり議論したりする。 ・作品や作家の歴史的・文化的背景等を学ぶ。 【書くこと】 ・近代の小説や随想、詩歌に関する自分の解釈や見解を基に書評を書いたり、作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。		【読むこと】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉えたり、作品に関連のある事項を踏まえて作品の解釈を深めたりする。 【書くこと】 創造的に考えたり想像したりしたことを、読み手の関心が得られるよう、文章の論理的な構成や展開、効果的な表現を工夫しながら表現する。	
3	【書くこと】 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開、表現を工夫しながら文芸作品を創作する。 ・文体の特徴や修辞のはたらきを捉えながら、相互に評価し合う。		【書くこと】 読み手を引き付ける独創的な文章を工夫したり、読み手からの助言を踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:国語表現(2年次全員履修)		単位数 2 単位	履修年次 2 年次 (3年次との分割履修)
目標	「現代の国語」で学習した「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基礎を踏まえ、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、考えたり想像したり、他者との関わりの中で伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。			
使用教材	教科書「大修館書店 国語表現」 プリント教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	実社会で自分の思いや考えを伝えるために必要な国語の知識や技術を身に付けている。	考える力や豊かに想像する力、他者との関わりの中で伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の言語活動の様子や課題などの提出状況、発表内容などを含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	【話すこと・聞くこと】 ・課題解決に向けて、グループになって進行や提案などの役割を果たしながら話し合う。 【書くこと】 ・自分に関わる身近なテーマについて、情報収集・整理の手法を用いたり、話の構成を工夫したりしながら意見文を書く。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【話すこと・聞くこと】 考えを広げたり深めたりしながら、話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【書くこと】 目的や意図に応じて、自分に関わる事柄について情報を収集し、話の構成を工夫する。	
2	【書くこと】 ・自分に関わる身近なテーマを選び、根拠となる体験やエピソードを集めたり、調べたことを話し合ったりしながら小論文を書く。 【話すこと・聞くこと】 ・日常生活の身近な話題について、グループディスカッションやビブリオバトルをとおして効果的に話し合ったり話の概要を的確に聞き取ったりする。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【書くこと】 自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、相手や意図に応じて根拠となる情報を基に論理の展開を考え、表現を工夫する。 【話すこと・聞くこと】 目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を選び、話の内容や構成、表現を工夫する。	
3	【話すこと・聞くこと】 自分で調べたことをプレゼンテーションソフトを使ってスピーチしたり、自己評価・相互評価を行ってそれらを振り返ったりする。 【書くこと】 ・自分に関わる事柄をテーマにした文章を書き、自己評価・相互評価を行い、今後の文章作成に生かす。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。		【話すこと・聞くこと】 目的や場に応じて、資料や機器を効果的に用いたり、相手の同意や共感が得られるように表現したりする。 【書くこと】 自分の思いや考えが伝わるように吟味したり、自分の文章の特長や課題を捉え直したりして、自己の考え方やものの考え方に役立てる。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:国語表現(3年次全員履修)	単位数 2 単位	履修年次 3 年次 (2年次との分割履修)
目標	2年次で学習した「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基礎を踏まえ、実社会に必要な国語の知識や技能を発展的に身に付け、論理的に考えたり想像したり、他者との関わりの中で積極的に伝え合ったりする力を伸ばし、創造的な自分の思いや考えを広げたり深めたりする。また、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。		
使用教材	教科書「大修館書店 国語表現」 プリント教材		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	実社会で自分の思いや考えを伝えるために必要な国語の知識や技術を、発展的に身に付けている。	論理的に考える力や豊かに想像する力、他者との関わりの中で積極的に伝え合ったりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	創造的な自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の言語活動の様子や課題などの提出状況、発表内容などを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【話すこと・聞くこと】 ・「自分」を他者に的確にアピールできるよう、効果的な自己PRの文章を作成して模擬面接を行う。 【書くこと】 ・情報収集・整理の手法を用いて具体例やエピソードを集め、説得力のある志望理由書を書く。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、目的に応じた表現等を身に付ける。	【話すこと・聞くこと】 目的に応じて、自分の思いや考えが相手に効果的に伝わるよう、話の構成や展開、表現を工夫する。 【書くこと】 相手の共感が得られるよう、自分に関わる事柄について情報を収集し、話の構成を工夫する。	
2	【書くこと】 ・実社会の問題の中からテーマを選び、根拠となるデータや資料を集めたり、調べたことを話し合ったりしながら小論文を書く。 【話すこと・聞くこと】 ・実社会の問題をテーマにディベートを行い、自分の主張を論理的に話したり、相手の主張を的確に聞き取ったり反論を予想したりする。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。	【書くこと】 自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら、相手の反論を想定しながら根拠となる情報を基に論理の展開を考え、表現を工夫する。 【話すこと・聞くこと】 自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いたり、相手の反論を想定して論理の展開を考えたりする。	
3	【書くこと】 ・実社会の問題や自分に関わる事柄をテーマにした文章を書き、自己評価・相互評価を行い、今後の文章作成に生かす。 ・常用漢字や基礎的な語句・語彙、その場に応じた表現等を身に付ける。	【書くこと】 自分の思いや考えが効果的に伝わるように吟味したり、聴き手からの助言を踏まえ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりして、自己の考え方やものの考え方に役立てる。	
学習上の留意点	① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:創作(選択)		単位数 2 単位	履修年次 2・3 年次
目標	俳句や川柳、詩などの文芸作品を鑑賞・理解することを通して、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、自ら創作活動を行うために必要な知識や技術を身に付けたり、創造的に考える力や豊かな想像力を伸ばしたりする。また、自分で様々な文芸作品を創作することの楽しさを体験しながら、生涯にわたる社会生活を豊かにしようとする態度を養う。			
使用教材	プリント教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	我が国の言語文化に対する理解を深めたり、創作活動に必要な知識や技能を身に付けたりしている。	様々な文芸作品の創作活動に必要な考える力や豊かな想像力を伸ばしている。	自分で様々な文芸作品を創作することの楽しさを体験しながら、生涯にわたる社会生活を豊かにしようとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度や課題の提出状況などを含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な文芸作品を鑑賞し、文芸作品の表現技法を理解する。 基礎的な表現手法を活用して、ネーミングや俳句を創作する。 		<ul style="list-style-type: none"> 文芸作品を鑑賞・理解することを通して、我が国の言語文化に対する理解を深める。 創作活動に必要な知識や技術、創造的に考える力、豊かな想像力の基礎を身に付ける。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 1学期で身に付けた知識や技術を活用しながら、俳句や短歌等の韻文作品を創作する。 創作作品を相互で鑑賞したり評価したりしながら、表現技法や発想の幅を広げたり深めたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 創作活動に必要な知識や技術、創造的に考える力、豊かな想像力を身に付ける。 自分で様々な文芸作品を創作することの楽しさに触れる。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 2学期までに身に付けた知識や技術を発展的に活用しながら、俳句や短歌、動画等を創作する。 創作作品を相互で鑑賞したり評価したりしながら、表現技法や発想の幅を広げたり深めたりして自己の創作活動に役立てる。 		<ul style="list-style-type: none"> 創作活動に必要な知識や技術、創造的に考える力、豊かな想像力を発展的に高める。 自分で様々な文芸作品を創作することの楽しさを味わう。 	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ① プリント類は学習順にファイルにとじる。 ② お互いを尊重し、各自の個性を認め合いながら、お互いに学び合うという姿勢を持つ。 			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	国語:国語常識(選択)	単位数 2 単位	履修年次 2・3 年次
目標	義務教育段階の国語に関する事項の定着や、日本の伝統的な言語文化などに触れることを通して、国語を適切に表現・理解するために必要な基礎的な言語能力を高めるとともに、国語に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。		
使用教材	副教材「尚文出版 国語必携 ライトパーフェクト演習(三訂版)」 副教材「日本漢字能力検定協会 漢検3級過去問題集 2023年度版」 プリント教材		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	国語に関する事項や日本の伝統的な言語文化などに触れながら、国語を適切に表現・理解するために必要な基礎的な言語能力を身に付けている。	国語に関する事項や日本の伝統的な言語文化などをより深めたり、国語を適切に表現・理解するために必要な基礎的な言語能力を活用したりしている。	国語に関する事項や日本の伝統的な言語文化などに親しむことによって人生を豊かにしようとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテストの他、日々の授業態度や課題の提出状況などを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	・副教材を用いて、日常生活で多用される慣用句や四字熟語の意味や用法及び表記の仕方の他、新聞や契約書などに見られる実社会に必要な常用漢字について学ぶ。	・慣用句や四字熟語、実社会でよく目にする漢字を、その語句の意味も含めて身に付けることで、日常生活における表現を豊かにする。	
2	・1学期の学習を踏まえ、副教材やプリント教材を用いて、実用的な文章や日常生活における身近な話題などについて書かれた文章で用いられている漢字や慣用句などについて、より深く学ぶとともに、それらの文章について要約をしたり反論や意見を述べたりする。	・文章の組み立てや語句の意味・用法に関する学習を通して、日常生活における身近な知識や話題などについて書かれた文章を正確に読み取り理解する力を高める。	
3	・副教材を用いて、日本文学の流れを理解したり、代表的な文学作品のあらすじを調べたりする。また、好きな本を持ち寄って紹介したり感想を述べたりする。	・文学史や代表的な文学作品について理解を深めるとともに、読書に親しむ態度を養う。	
学習上の留意点	授業内容をよく理解しながら、課題に取り組む。その場限りの学習にならないよう、日常生活と結びつけながら具体的に学習し、日々の繰り返し・反復練習を大切にする。		